

会議名	第4回 第1分科会（生活産業、環境分野）	
日時	平成21年11月2日（月） 午前9時～11時30分	
場所	消防署 2階 小会議室	
出席者	市民委員	宮川秀男、岩井喜美子、馬場紀久世、川瀬正子、細川幸子
	市職員	三輪美吉、江端義人、岡地信、鶴見昌司、滝紀彦、大森幹根
議題	1. 平成20年度施策評価結果について 2. その他	
資料	平成20年度施策評価の結果【I生活産業、環境分野】	

◆ 会議結果 ◆

1. 平成20年度施策評価結果について

平成20年度施策評価の結果の各施策について、担当課長から説明がありました。各施策評価結果に対する意見等は次のとおりです。

〔柱5〕 施策「環境保全への意識の高揚」

・太陽光発電に対する補助金は現在どのようになっているのかとの質問があり、平成20年度は200万円、平成21年度は当初予算300万円プラス補正予算160万円の合計460万円の予算措置をしている。ハード面の整備には財源的に制約があるため、江南市地球温暖化対策実行計画においても、資源・エネルギーの節約、本庁舎内の照明系統の変更、エコドライブ、緑のカーテンなどソフト面を中心に計画を積み上げているとの説明がありました。

〔柱5〕 施策「公害の防止と対策の推進」

・公害苦情件数の内訳はどのようになっているのかとの質問があり、雑草・野焼きが大半を占めており、増加傾向にあるとの説明がありました。また一部地域で野焼き防止のパトロールを実施しているとの報告がありました。

・河川水質が指標となっているが、江南市の河川には排水も流れ込んでいるので、河川水質の向上は用排分離を行わないとなかなか難しいとの説明がありました。

〔柱6〕 施策「ごみの減量と再利用の促進」

・スーパー等のレジ袋有料化の効果はどうかとの質問があり、マイバッグの持参率は目標 80%以上に対して 91.7%で効果も上がっており、今後も店舗拡大に努めていきたいとの説明がありました。

・江南市を含む尾張地域は、贈答品の過剰包装が気になる、ごみを出さないという市民の意識改革も必要だと思うとの意見がありました。

〔柱6〕 施策「ごみ・し尿の適正な収集、運搬、処分」

・不法投棄防止対策としての監視カメラの設置は何台あるかという質問があり、市内のごみ集積場に申込順に5台設置し、不法投棄が減少しているとの説明がありました。

2. その他

まちづくり会議（生活産業、環境分野）全体を通して次のような意見がありました。

- ・平成 20 年度に 3 回勉強会を開催し、今年度 3 回開催したまちづくり会議で戦略計画の基本的なことへの理解が深まったと思う。
- ・指定管理者への委託については、専門業者だけではなく、NPO や市民団体への委託なども考慮して欲しい。
- ・達成状況に（ ）書きで進捗率が書いてあるが、非常に大きな%やーがあり、わかりにくいので標記の仕方をもう一度検討して欲しい。
- ・広報に施策評価結果が掲載されていたが、もう少し見やすくなるよう検討して欲しい。

事務局から来年度のまちづくり会議のスケジュールについて説明がありました。